

令和3年5月

にしき福祉相談センター かわら版

創刊号

はじめまして

にしき福祉相談センターは〈立川市業務委託〉で高齢者の介護問題・生活上の困りごと・介護保険や高齢者サービスの各種申請受付・介護予防教室・家族介護者気教室の企画などを行っております。

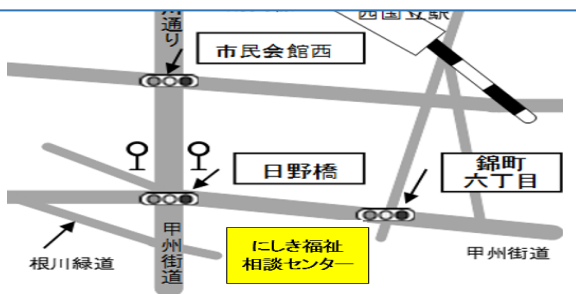
連絡先

電話：042-527-0321

営業時間

月～金 9:00～19:00

土 9:00～17:00



センター職員の紹介

本橋 森屋 村越 宮原 戸井田 清野



耳より情報

「オンライン」とは

コロナ禍のなかでよく耳にする言葉として「オンライン」「リモート」ではないでしょうか？「テレワーク」という言葉も聞かれます。「オンライン」とはパソコン・スマホ・タブレット等がインターネットに繋がっている状態のことです。

会議・講座・研修・おしゃべり・飲み会など使い道はいろいろです！

高齢期を元気に過ごしましょう！！

ここ最近、4月なのに気温が25度を上回る日があり食べ物に注意が必要になってきています。新型コロナウイルス感染予防対策でマスク・うがい・手洗い・アルコール消毒と注意を払っていますが、食中毒の予防も意識して下さい。食中毒は、菌やウイルスなどが原因で起きる下痢や嘔吐などの中毒症状のことで最悪の場合死に至る場合があります。免疫力が低下しがちな高齢者は、特に気を付ける必要があります。



今こそ人生会議

令和3年1月30日（土）、立川市看取り支援フォーラムが開催されました。元々は女性総合センターアィムで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、初のオンライン開催となりました。試行錯誤しながらのオンライン開催でしたが、お陰様で120名を超える方に視聴していただき、好評の中、終える事ができホッとしています。

基調講演は岐阜県にある小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック院長の小笠原文雄医師をお招きし、「なんとめでたいご臨終」というテーマで在宅での看取りについてユーモアある語り口でお話を頂きました。第二部のシンポジウムでは「立川で最期を迎えるということ」をテーマに、医療介護関係者、ボランティア、在宅介護経験者の方々にお話頂きました。

人生会議とは、もしもの時のために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組みのことである、と厚生労働省ホームページに記載されております。新型コロナウイルス感染症、という言葉が毎日耳にするこの一年、人生会議という言葉により一層身近に感じるようになったのではないのでしょうか？



立川市ブランドメッセージロゴマーク

立川市の魅力を一言で表す合言葉である、ブランドメッセージ「立川くらいが、一番いい」は、市民や企業・団体等の皆さん、職員有志によるワークショップにおいて制作された候補案より多くの皆さんからの投票を経て決定しました。右にあるのがそのロゴマークです。これからいろんな機会で見にすることでしょう。福祉相談センターも一番いい地域づくりに少しでもお役にたてればと思います。（市の広報でも紹介されました）



ここで、ちょっと一息 フィンランドの不思議なことわざ

ふたつのベリーのように
KUIN KAKSI MARJAA



【そっくり（瓜ふたつ）】

編集後記

この度「にしき福祉相談センター」から地域の皆様へ役立つ情報発信を目指しかわら版を刊行することになりました。(M/M)